

# 鏡川流域パートナーシップだより No.271 R8.3.11



新エネルギー・環境政策課では、高知市の清潔なまちのシンボルである鏡川の美しい景観や自然環境を保全するため、鏡川流域の自然と人、人と人との関わりとつながり(鏡川流域パートナーシップ)の拡大を目指しています。「鏡川流域パートナーシップだより」では、鏡川流域パートナーシップ推進に向けたさまざまな取組を楽しく紹介します！

## 鏡川流域の里山歩きとアロマウォーター作り♪



3月1日(日)に、【南嶺の里山を散策して「アロマウォーター」を作ろう】と題し、鏡川流域の里山での植物採集と蒸留体験を行いました！

今回のイベントは、鏡川流域関係人口講座3期生の藤澤佑介さんのご協力により、土佐塾中学・高等学校「まなび創造コース」の校舎や、付近の南嶺の里山を活用させていただきました。さらに、日頃、オンライン交流会などで交流を深めている桑山佳織さん(日本コパック株式会社/アロマセラピーインストラクター)にもご参加いただき、鏡川流域の植生や自然資源の活用方法について楽しく学ぶ機会になりました。

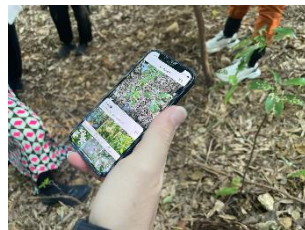
☞北海道から2名、東京都から1名、神奈川県から1名、高知市から8名、総勢12名の関係人口が集まりました♪



☞①ガードレールと木の間に抜けて、里山に登っていきます。「え！ここから入るんですか！」と驚く声もあり、ちょっとした冒険のような雰囲気でした。周囲に生えている竹や木々を眺めながら、みんなで一緒に里山を散策しました。



☞②アロマウォーターの材料になりそうな植物を採集し、袋に詰めていきます。「枯れたヒノキは香りが出にくいですか?」「栗はどうですか?」と、気になったことを桑山さんに質問すると、なんでも答えてくれました^^



☞③本課が毎年、市民参加型生物多様性調査に活用しているスマホアプリ「Biome」は、関係人口の皆さんの間ではおなじみ！里山散策中にも「Biome」を使って植物の名前を調べていました。北海道からお越しの「あいのまま」さんは、参加した中学生に「Biome」の使い方を教えてくれていました！



☞④採集した15種類の植物を並べて、形や香りを確認。「いい香りが出そう!」とみんなで判断したスギとヤブニッケイを細かく刻んで、それぞれお鍋に入れて沸騰させます。



☞⑤冷却された蒸気が液体となって抽出された瞬間、みんなで「すごい!出た!」と大盛り上がり♪この液体は、スプレーボトルに入れて持ち帰りました。鏡川流域の里山の風景や植物、そしてみんなで過ごした時間をいつでも思い出せますね^^

☞参加者からコメントが届きました！

めちゃくちゃ楽しかった！今までイベント行きたくても知らない人ばかりやから躊躇してたけど、すぐ受け入れてもらえて、次も気兼ねなく参加できそう。参加してよかったです。



鏡川流域関係人口のつながりを可視化し、循環を促進するために、スマホアプリ「まちのコイン」を導入しました。高知市のコイン名称は「ぼっちり」です。鏡川がつながり山、川、海、人のたくさんの「ちょうどいい」関わりを未来へと繋いでいきたいという意味が込められています。ユーザー、スポット募集中です！

※「ぼっちり」の詳細については、こちらをご覧ください。

<http://cms4.city.kochi.kochi.jp/soshiki/186/machinocoin.html>

「まちのコイン」のインストール



iPhone



Android